

スロベニア共和国クラン市派遣報告書

福井市行政調査団

(事務局：総務部 市長公室 総合政策課)

目 次

番号	項目	ページ
1	日程	1
2	調査団の構成	1
3	クラン市の紹介	1
4	調査団派遣の経緯	5
5	調査項目	7
6	訪問先	8
7	行程（全体）	8
8	訪問記録（クラン市）	9
	プライマリースクール フランツェ・プレシェーレン校 primary school OŠ Franceta Prešerna Kranj	1 1
	クラン観光文化局 Tourism and Culture Board Kranj	1 0
	コヴァチニツァ - ビジネス インキュベーター クラン Kovačnica – business incubator Kranj	1 4
	プライマリースクール オレヘク クラン primary school OŠ Orehek Kranj	1 7
	高校 ギムナジウム フランツェ・プレシェーレン クラン high school Gimnazija Franceta Prešerna Kranj	1 8
	クラン音楽学校 Music school Kranj	2 0
	ヤネス・プハール記念館 Janez Puhar Memorial Hous	2 2
	クラン市図書館 福井市展覧会（写真展・書道展） Kranj City Library – exhibition of Fukui City	2 4
	ブルド公園 Park Brdo	2 6
	S O S プロテウス（人間魚） インフォメーションセンター Info center SOS proteus (human fish)	2 8
	「ドム ナ ヨシュトゥ」での市職員との夕食会 Dinner with city officials at Dom na Joštu	3 0

番号	項目	ページ
8	訪問記録（クラン市）	
	タウンホール - 展覧会「彼らの喜びは我々の富」 3 3 （スロベニア衣料遺産展示） Town Hall – Exhibition: Their Joy is Our Wealth Exhibition of Slovenian clothing heritage	
	クラン市役所 3 4 スマートシティとグリーンアジェンダに関する ビジョンと進捗についてのプレゼンテーション City of Kranj Presentation our vision and progress on the Smart City and Green Agenda.	
	クラン市役所 署名セレモニー 3 9 City of Kranj Signing ceremony	
	養蜂と市長の巣箱のプレゼンテーション 4 3 Presentation of Beekeeping and the Mayor's Beehive	
	クラン旧市街 視察 4 4 Old town of Kranj	
1 0	訪問記録（リュブリャナ市） 4 5	
1 1	総括 4 7	

1 日程

令和6年6月30日(日)～ 令和6年7月6日(土) 4泊7日

2 調査団の構成

役職	職	氏名(かな)
団長	福井市長	西行 茂(さいぎょう しげる)
団員	福井市議会 議長	池上 優徳(いけがみ まさのり)
	福井市議会 総務委員会委員長	酒井 良樹(さかい よしき)
	福井市議会 経済企業委員会委員長	榊原 光賀(さかきばら みつよし)
	福井市職員(随行)2名	
	行政通訳員 1名	

7/1(月)～2(火) 午前は、自治体国際化協会(CLAIR)パリ事務所職員1名(福井市からの出向者)もスロベニア共和国クラン市にて調査団に同行

3 クラン市の紹介

<位置図>

西・中央ヨーロッパ



スロベニア
共和国



クラン市
広域図

クラン市
中心部



リュブリャナ空港

< 概況 >

項目	詳細	
人口	57,130 人（スロベニア国内 3 番目）	福井市 254,513 人（R6.7.1 現在）
面積	151 km ²	福井市 536.4 km ²
位置	首都リュブリャナから約 25 km（車で約 40 分） リュブリャナ空港から約 6 km（車で約 15 分）	
教育施設	初等教育：小中学校 10 校（内 1 校は適応プログラム校） 中等教育：高等学校 2 校、中等学校 3 校 高等教育：大学 3 校、高等教育機関 1 施設、大学学部 4 学部	
文化	文化団体：約 60（音楽、演劇、美術、写真、映画、文学等）	
スポーツ	スポーツクラブ：200 以上 スポーツ施設：市民 1 人当たり施設面積 15.68 m ² 主な施設：屋内プール、スキージャンプ台、陸上競技場・サッカー場	
姉妹都市	国外の 11 都市と姉妹（双子）都市協定を締結 < 旧ユーゴスラビア圏 3 都市 > ヘルツェグ・ノヴィ（モンテネグロ） 1965 年締結 コトル・パロシュ（ボスニア・ヘルツェゴヴィナ） 1977 年締結 センタ（セルビア） 1980 年締結 < 上記以外 8 都市 > ラ・シオタ（フランス） 1958 年締結 オールダム（イングランド） 1970 年締結 リヴォリ（イタリア） 1970 年締結 アイゼンカッペル（オーストリア） 1984 年締結 イスタンブール - ブュッケレック（トルコ） 2014 年締結 張家口（中国） 2021 年締結 エカテリンブルク（ロシア） 2022 年締結（凍結中） コロラドスプリングス（アメリカ） 2022 年締結	

項目	詳細
姉妹都市	<p>INTERNATIONAL COOPERATION</p>  <p>11 twin towns</p> <ul style="list-style-type: none"> • La Ciotat (France) Agreement signed in 1958 • Herceg Novi (Montenegro): Agreement signed in 1965 • Oldham (Great Britain) Agreement signed in 1970 • Rivoli (Italy) Agreement signed in 1970 • Kotor Varoš (Republic of Srpska/Bosna and Herzegovina) Agreement signed in 1977 • Senta (Serbia) Agreement signed in 1980 • Eisenkappel (Austria) Agreement signed in 1984 • Istanbul - Buyukcecece (Turkey) Agreement signed in 2014 • Zhangjiakou (China) Agreement signed in 2021 • **Yekaterinburg (Russia) Agreement signed in 2022 – current • Colorado Springs (USA) - Agreement signed in 2022
主要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市及び一部の公共機関の車両を e-vehicle (電気自動車) に置き換え ・スロベニア最大の電動自転車シェアリングシステムを整備 ・市内中心部にて電気ミニバスを運行 (無料) ・2022 年 6 月から市内公共交通機関を無料化 (対象: 年金受給者、65 歳以上の高齢者、障害者) <p>2021 年スロベニアの最優秀 e-モビリティ都市自治体に出選</p> <p>E-MOBILITY → City of Kranj = the best e-mobility City Municipality in Slovenia in 2021</p> <p>GREEN CITY</p>  <ul style="list-style-type: none"> replacement of the city's vehicles with e-vehicles Zero Waste SLOVENIA 1000 trees in 2 mandates green roofs car sharing the largest electrified bike sharing system in Slovenia electric minibus in the old town (free of charge) electric-buses cycling lanes public charging stations in urban areas rooftop solar power plants The 150 tons of CO2 will be saved = as much as it is absorbed by about 8000 trees. <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティソリューション「M1 a k a」の整備 ・デジタルプラットフォームの整備 (国内初) ・シティ・カードの導入 公共機関や企業のサービス (駐車場、劇場、公共交通機関、自転車シェアリング、レンタカー、飲食店など) の支払いに利用可能

項目	詳細
	<div data-bbox="384 277 625 313"> <h2>DIGITALIZATION</h2> </div> <div data-bbox="400 340 515 369"> <h3>Smart City</h3> </div> <div data-bbox="360 349 759 539">  </div> <div data-bbox="373 553 968 815"> <ul style="list-style-type: none"> → 2020: a pilot project Smart neighbourhood Mlaka. → 7 companies developed solutions for establishing Kranj as a smart city. → Collection, display and analysis of data from smart meters (electricity, gas, water), smart sensors for the environment and traffic. → Virtual model, digital twin, that simulates neighbourhood functioning systems through smart solutions. → Monitoring of up-to-date data or the "live" situation, which is the first case of its kind in Slovenia. → It monitors: smart lighting, smart environment, smart traffic, smart energy and water ... → Goal: to raise the quality of life with useful digital solutions. </div> <div data-bbox="1136 266 1382 405">  </div> <div data-bbox="1128 443 1388 501"> <h3>Digital platform</h3> <p>as 1st Municipality in Slovenia</p> </div> <div data-bbox="1066 501 1410 591"> <p>Easier and faster communication with public services, easier access to data, events, activities and available services, and the implementation of related e-services.</p> </div> <div data-bbox="1091 658 1329 692"> <h3>City card/application</h3> </div> <div data-bbox="1077 732 1278 808"> <p>For paying the services of public institutions and private sector.</p> </div> <div data-bbox="1286 703 1394 804">  </div>

4 調査団派遣の経緯

ホストタウン交流を契機としてスロベニア共和国との交流を重ねる中で、当時、駐日スロベニア共和国大使を務めていたアナ・ポラック＝ペトリッチ大使から、ご自身の出身地であるクラン市との都市間交流をご提案いただいた。

ペトリッチ大使に、東京五輪でのスロベニア代表バスケットボールの活躍を祝して記念品を贈呈



ペトリッチ大使が来福され、東村市長（当時）、西行副市長（当時）らと面会



令和4年度に、本市とクラン市との間で、お手紙交換を中心とした学校間交流が行われ、令和5年度以降も、ビデオレター交換やオンライン交流など新たな手法も取り入れながら、6、7校での学校間交流が継続して行われている。

令和4年度に行なった両市間のオンラインミーティングで、お互いのまちをよく知るためには、現地に足を運び、実際に確認し合うのがよいとの意見が交わされ、相互訪問の検討に入った。

オンラインミーティング1回目



オンラインミーティング2回目



派遣時期についてクラン市と調整を進めた結果、クラン市からは令和6年4月に、福井市からは令和6年7月にそれぞれ派遣することとなった。

令和6年4月1日～5日に、クラン市長一行（市長ご夫妻ほか 計6名）が本市を訪問され、市長・議長表敬や経済団体や市民団体との交流を行った。

福井市長表敬訪問（意見交換）



福井市長表敬訪問（記念撮影）



福井商業高校訪問



順化小学校訪問



明道中学校訪問



福井大学訪問



在福井スロベニア名誉領事館訪問



福井商工会議所訪問



経済交流会（プレゼンテーション）



市民団体との交流会（書道体験）



経済界との記念撮影



市民団体と記念撮影



帰国後にクラン市長から西行市長宛てに感謝の意が込められたお礼状が届いた。

<お礼状の要旨>

- ・ 温かい歓迎と卓越したおもてなしに深く感謝を申し上げる。
- ・ 7月に福井市長並びに福井市代表団がクラン市を訪問した際には、両市の提携に関する意向表明書に署名を行いたい。
- ・ 2025年には、意向表明書をさらに高いレベル、つまり姉妹都市協定書に引き上げたい。

これを受け、元々予定していたクラン市の現状把握に加えて、クラン市との姉妹都市提携の可能性を調査することが、現地訪問における主要な使命となった。

5 調査項目

- 1 クラン市の現状
- 2 様々な分野における今後の交流進展の可能性
 - ・ 学校間での教育交流
 - ・ 企業間交流など経済交流
 - ・ スロベニアを軸とした観光交流
 - ・ 市民交流(市民団体間等)
- 3 上記1、2をふまえた令和7年度における姉妹都市提携の可能性

6 訪問先

< クラン市 >

分野	訪問先
教育	プライマリースクール（小中校） フランツェ・プレシェーレン校
	プライマリースクール（小中校） オレhek校
	ギムナジウム（高校） フランツェ・プレシェーレン校
経済	Kova nica- ビジネス・インキュベーター・クラン
観光	クラン市観光文化局
文化	クラン音楽学校
	ヤネス・プハール記念館
	クラン市図書館（福井市写真展・書道展見学）
	ブルド公園（ブルド城）
	SOS プロテウス インフォメーションセンター
	タウンホール（スロベニア衣料遺産展覧会）
行政	クラン市役所

< リュブリャナ市（首都） >

分野	訪問先
行政	在スロベニア日本国大使公邸
文化	リュブリャナ市内

7 行程（全体）

日	場所	時間	区分	行程
6/30 (日)	日本～トルコ～ スロベニア共和国		移動	福井駅 関西国際空港 イスタンブール空港(トルコ) リュブリャナ空港(スロベニア共和国)
7/1 (月)	リュブリャナ空港	7:55		空港着、入国審査
	クラン市	14:30 ～ 19:00	訪問	プライマリースクール(フランツェ・プレシェーレン校)
				クラン市観光文化局
				ビジネスインキュベーター クラン
7/2 (火)	クラン市	終日	訪問	プライマリースクール(オレhek校)
				ギムナジウム(フランツェ・プレシェーレン校)
				クラン音楽学校
				ヤネス・プハール記念館
				クラン市図書館(福井市写真展)
			視察	ブルド公園
			視察	SOS プロテウス インフォメーションセンター
			会食	夕食会





7/3 (水)	クラン市	9:00	視察	タウンホール(民族衣装展覧会)
		11:00	表敬	クラン市役所
		15:00	訪問	メイーズ・ビーズハウス(養蜂家との交流)
		16:00	視察	クラン旧市街地
	リュブリャナ市	17:00		クラン市出発(リュブリャナ市へ)
		17:45		ホテル着(休憩)
		19:00	会食	大使公邸での会食(市長、議長のみ)
7/4 (木)	リュブリャナ市	終日	視察	リュブリャナ市内
	スロベニア共和国 ～トルコ～福井	17:00		リュブリャナ空港着(出国審査)
7/5 (金)			移動	リュブリャナ空港(スロベニア共和国)
7/6 (土)				イスタンブール空港(トルコ)
				関西国際空港
				福井

8 訪問記録(クラン市)

<クラン市訪問先一覧>

分野	訪問先
教育	プライマリースクール(小中校) フランツェ・プレシェーレン校
	プライマリースクール(小中校) オレヘク校
	ギムナジウム(高校) フランツェ・プレシェーレン校
経済	Kovarnica- ビジネス・インキュベーター・クラン
観光	クラン市観光文化局
文化	クラン音楽学校
	ヤネス・プハール記念館
	クラン市図書館(福井市写真展見学)
	ブルド公園(ブルド城)
	SOSプロテウス インフォメーションセンター
	タウンホール(スロベニア衣料遺産展覧会)
行政	クラン市役所

< 訪問内容 >

教育	primary school OŠ Franceta Prešerna Kranj プライマリースクール フランツェ・プレシェーレン校
訪問日	7月1日(月) 14時30分～15時30分
住 所	OŠ Franceta Prešerna Kranj, Kidričeva cesta 49, 4000 Kranj
面会者	the principal: Ms. Sonja Grilc (ソーニャ グリル校長)、交流担当教諭
流 れ	学校案内(特別教室での授業の取組紹介) 意見交換 記念写真撮影 ギフト贈呈
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工作室や化学室などの設備が充実しており、早くから実践的なことを学べる環境が整う。 ・ 外国の学校との交流から学んだことを取り入れたりもしている。 ・ 子どもたちの意志を尊重し、自分でチャレンジすることを重視。 ・ 福井との交流を継続できることを歓迎している ・ 交流がより有意義なものとなるよう、学校の教諭同士が意見交換を行う教師間交流の提案を受ける。
記 録 写 真	   

観光	Tourism and Culture Board Kranj クラン観光文化局
訪問日	7月1日(月) 15時45分～17時00分
住 所	Zavod za turizem in kulturo Kranj, Glavni trg 2, 4000 Kranj
面会者	Head of the Tourism and Culture Board Kranj Mr. Klemen Malovrh. クラン観光文化局長 クレメン・マロフ氏
流 れ	<p>館内視察</p> <p>局長からのプレゼンテーション(クランの観光とイベントについて)</p> <p>福井市の観光PRの依頼(各種パンフレット贈呈)</p> <p>ギフト贈呈</p> <p>記念写真撮影</p>
プレゼン 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・クランは、サヴァ川とコクラ川に挟まれ、旧市街地は高さ20メートルの岩の上に位置し、人々は6000年前からこの地に定住を始めた。 ・クランのポリシーは「環境に配慮し、持続可能であること」で、手つかずの自然を保護し、大量観光を避け、市民生活の保護を最優先している。 ・2023年に欧州委員会から「<u>欧州の卓越した目的地</u>」の称号を授与され、スロベニア観光局の「<u>プラチナ・スロベニア・グリーン・デスティネーションアワード</u>」を獲得し、ブレッドウォーターフォーラムから「<u>国際的な水の優秀証明書</u>」を受賞した。 ・最も多くの観光客が来訪するのは、全長1.3キロの地下トンネルで、2022年には、<u>地下水資源とプロテウス(人間魚=洞窟内に生息するサシヨウウオ)の保護のため、SOSプロテウス・インフォメーションセンターがオープンした。</u> ・クランは、周辺の山々や自然を訪ねるのに絶好の拠点となっている。 ・クラン周辺には、クランを拠点とする6つのサイクリングルートがあり、最長80kmの長さを誇る。 ・夏には、様々なフェスティバルが開催され、その数は150を超える。 ・キスルシュタイン城の野外ステージでは、<u>週末を中心に様々なコンサートや文化プログラムが開催される。</u> ・クラン出身の偉大な詩人フランツェ・プレシェーレンを祝い、<u>毎年2月8日にプレシェーレンフェアが開催され、約2万人がクランを訪れる。</u> <ul style="list-style-type: none"> ・クランの地下トンネルで、<u>スロベニア国内の全てのワイン生産地から提供されたワインが振舞われるワイン・ルートが開催される</u>

クラン全景とコクラ川



旧市街地（メインスクエア）



国際的な水の優秀証明書受賞



地下トンネル（SOSプロジェクトインフォメーションセンター）



周辺の自然



夏のフェスティバル



キスルシュタイン城



ワイン・ルート








経 済	Kovačnica – business incubator Kranj コヴァチニツァ - ビジネス インキュベーター クラン
訪問日	7月1日(月) 17時00分～18時00分
住 所	Kovačnica – podjetniški inkubator Kranj, Poštna ulica 4, 4000 Kranj
面会者	施設関係者 数名 若手起業家 2グループ 数名
流 れ	施設紹介プレゼンテーション 若手起業家からのプレゼンテーション・意見交換 記念写真撮影 ギフト贈呈
施 設 紹 介 プレゼン	<p>< 設立経緯 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の失業率が高い状況にあった2015年、<u>クラン市と若手が手を組み、ゴレンスカ・コワーキング・センターの計画に着手</u> ・<u>ゴレンスカ地域開発庁(BSCクラン)が計画に参加し、経験とEUの資金を投入し、プログラムを開始</u> ・コワーキングスペースからビジネスインキュベーターに変貌し、手狭になったことから、<u>クラン市とBSCが協力してプログラムを準備し、クラン市中心部の旧郵便局の建物の購入と改築のための資金を確保し、現在に至る。</u> <p>< 施設の役割 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス インキュベーターであり、ゴレンスカ地域の若い起業家が、起業の世界に参入するために必要なものを迅速かつ効率的に提供する コミュニティでもある ・<u>7人のメンバーで構成されるチームが、EUの資金獲得のために積極的に活動</u> <u>プログラムや活動の大半は、エンドユーザーにほとんど無料で提供</u> ・11歳から14歳までの小中学生を対象とするジュニアプログラムでは、無料セッションを通じて起業家精神のソフトスキルを学ぶ。 <p>< 設立後の活動実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 情報提供・教育イベント : 430件超 訪問起業家数 : 89人 <u>インキュベート企業数 : 65社</u> 起業家へのコンサルティング : 3,000件超

<p>施設紹介プレゼン</p>	<p><施設概要></p> <p>ハード面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペース：40超 ・独立型オフィス：14室 ・ラボ（VR・AR機器、3Dプリンターなどを完備） ・大講義室 ・キッチン ・ゴレンスカ起業家展示スペース <p>ソフト面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスコンサルティング ・一流起業家メンター派遣 ・ワークショップ開催 <div data-bbox="517 775 1262 1617"> </div>
<p>若手起業家プレゼン</p>	<p>INOKRON d.o.o.</p> <p>企業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンプルで堅牢な自動家畜給餌システムを開発。 ・当社のシステムの特長は、ヨーロッパで特許を取得する予定の革新的な飼料混合プロセスにある。このプロセスにより、大型で無駄の多いミキシングトレーラーが不要になるため、既存のソリューションと比較して最大50%の省エネ化が可能。

	<p>プレゼン概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業分野において、労働力不足やエネルギー価格の高騰が課題となっていたことから、省力化・省エネの実現のためにこのプロジェクトを始動 ・ 酪農分野において、飼料の機械化・自動化を図ることで生産性が向上すると共に、酪農家の所得向上に貢献することができた。 <p>ADC sistemi d.o.o.</p> <p>企業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートホームとプライベート・パブリック・スペースの遠隔管理のためのソリューションを開発 ・ ユーザーが生活環境のさまざまな側面を簡単、直感的、かつ安全に管理できるような技術の開発に取り組む。 ・ この度、GERMAN INNOVATION AWARD を受賞 <p>プレゼン概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンを利用して、ボタン一つで建築ガラスを可視・不可視に切り替えられるシステムを開発 ・ 同様にスマートフォンから自宅のドア鍵の施錠・開錠をすることも可能 ・ 日本は未開拓。福井の企業を紹介してほしい。
<p>記 録 写 真</p>	

教育	primary school OŠ Orehek Kranj プライマリースクール オレヘク クラン
訪問日	7月2日(火) 9時10分～9時40分
住 所	OŠ Orehek Kranj, <u>Zasavska cesta 53a, 4000 Kranj</u>
面会者	principal Mr. Drago Zalar (ドラゴ ザラル校長)
流 れ	学校案内 ギフト贈呈 記念写真撮影
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・校長先生を始め、教職員総出で代表団来訪を歓迎。 ・玄関先及び館内で、アコーディオンの生演奏あり。 ・玄関を入った先には、ボードに日本語で「いらっしゃいませ」のウェルカムボードと、学校間交流で使用した、スロベニアを紹介する手作り作品を掲示。 ・食堂ホールでは、<u>カフェテリア方式の給食を1日2回、午前と午後に提供</u>。調理場はオープンキッチン式でホールから調理の様子を眺めることができる。 ・スロベニアでは登校時間が早いため、午前の給食は生徒たちが登校後に食べる朝食を兼ねる。 ・<u>体育館は、巨大な梁が木造で、天井も板張りとなっていた。</u> ・日本とのつながりは、福井の学校との交流が初めてになるが、交流を通して日本の文化に触れることができることは貴重な体験である。 ・いつか実際に行き来することができれば嬉しい。
記 録 写 真	  

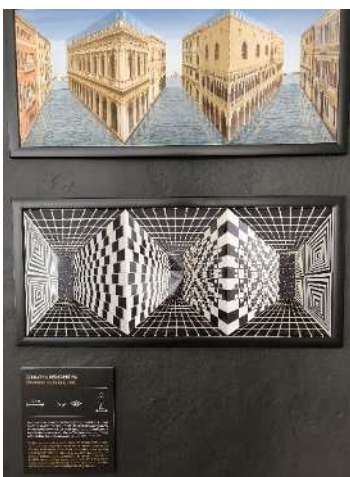
教育	high school Gimnazija Franceta Prešerna Kranj 高校 ギムナジウム フランツエ・プレシェーレン クラン
訪問日	7月2日(火) 9時45分～10時30分
住 所	Gimnazija Franceta Prešerna Kranj, Kidričeva cesta 65, 4000 Kranj
面会者	principal Ms. Mirjam Bizjak ミリヤム・ビジャック校長
流 れ	<p>歓迎セレモニー</p> <p>校長先生スピーチ、交流担当教諭スピーチ</p> <p>生徒発表(国歌、アコースティックギター、アコーディオン、琴)</p> <p>学校案内</p> <p>記念写真撮影</p> <p>ギフト贈呈</p>
基 礎 情 報	<ul style="list-style-type: none"> ・教員数は約60人、生徒数約600人 ・ギムナジウム、アスリート ギムナジウム、エコノミック ギムナジウム、アスリート エコノミック ギムナジウムの4つのコースがある ・スロベニア国内はもとより、世界的にも優秀なアスリートを輩出 ・スポーツ選手、芸術家、科学者、起業家として成功するために必要なプログラムを用意
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は既に学期末を過ぎ、夏季休暇期間に入っていたが、代表団来訪に合わせて、校長先生、交流担当先生ほか、生徒代表がお出迎え ・正面玄関を入ってすぐのホールには、オリンピックメダリストとなった卒業生たちの写真と各種競技で好成績を残している生徒らの写真が多数掲示 ・中庭で行われた歓迎セレモニーでは、生徒代表が、スロベニア国家の日本語での紹介、アコースティックギターの弾き語り、アコーディオン演奏、日本の琴とスロベニアの弦楽器の共演、などでおもてなし ・学校案内では、体育館やトレーニングルームなど、充実した施設で専門性の高い教育が行われていることの説明を受ける ・音楽教諭の男性は、日本のボーカルグループが好きになって独学で日本語を学び、福井商業高校との交流をサポートしていることを報告 ・今年からスタートした福井商業高校との交流は、これから継続し、さらに発展させていきたいとの展望を伺う



文化	Music school Kranj クラン音楽学校
訪問日	7月2日(火) 10時45分～11時40分
住 所	Glasbena šola Kranj, Cankarjeva ulica 2, 4000 Kranj
面会者	principal Ms. Petra Mohorčič ペトラ・モホルチッチ校長先生
流 れ	<p>学校紹介プレゼンテーション</p> <p>学校案内</p> <p>記念写真撮影</p> <p>ギフト贈呈</p>
プレゼン メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽学校の起源は、旧ユーゴスラビア時代の<u>1909年に遡る。</u> ・2020年にクラン市は旧市街地にある旧建設学校の建物を改修することを決定した。 ・クラン市により改装された建物は、4階建てで、音楽学校とバレエ学校が共有している。 ・<u>60人の教師と70人の従業員、計130人のスタッフで運営。</u> ・プライマリースクールに通う小中学生を入学対象としており、<u>毎年100人前後の新入生を受入れ。</u> ・経験や能力を問わず、誰にでも入校の機会が与えられている。 ・お昼過ぎまでプライマリースクールに通う小中学生が、下校後に通うセカンドスクールのような位置づけになっている。 ・クラン市を始めゴレンスカ地域にはコンサートホールがないが、サマーフェスティバルなど会場を問わずに発表の場を求め、多くの市民が鑑賞に訪れてくれる。 ・クラン市の外に遠征に行くような場合、大半は補助を出してもらえる。6月にも、リュブリャナのコンサートホールで演奏をしてきたところ。 ・学校にあるすべての音楽楽器は、長期間でも無料で貸し出しが可能。 <ul style="list-style-type: none"> ・頑張りたいという生徒には、夢を叶えるための申し分ない環境が用意されており、本校の特色であると自覚している。



文化	Janez Puhar Memorial Hous ヤネス・プハール記念館
訪問日	7月2日(火) 11時45分～12時20分
住 所	Kabinet izumitelja Puharja, Tomsičeva ulica 13, 4000 Kranj
施 設 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>スロベニア初の写真家、ガラス写真の発明者、そして最初の本物の写真セルフィーの作者であるヤネス・プハールの人生と作品について紹介。</u> ・ 館内には、同氏の人生とガラス写真の制作過程を記した博物館の部屋、映画とイリュージョンの部屋、当時の衣装を着たポートレート写真をガラスに描いて持ち帰ることができる19世紀の写真スタジオがある。
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館内に展示されている同氏の発明品の数々は、現代においても色あせないクオリティを誇っている。 ・ 保存された建物、発明品、写真撮影の体験、ガイドの熱心な説明など、歴史と文化を大切に守り続けようとする街の姿勢が凝縮されていた。







文化	Kranj City Library – exhibition of Fukui City クラン市図書館 福井市展覧会（写真展、書道展）
訪問日	7月2日（火）12時30分～13時20分
住 所	Mestna knjižnica Kranj, Gregorčičeva ulica 1, 4000 Kranj
面会者	Head of the library Ms. Maja Vunšek 図書館長マーヤ・ヴンセック氏との面会
流 れ	図書館長挨拶 ヤネス・プハール写真協会会員紹介 福井市展覧会（写真展、書道展）見学 ヤネス・プハール写真協会写真展 見学 館内視察 ギフト贈呈 記念写真撮影
施 設 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・クラン市図書館は、2011年に、有名な建築家ラヴニカーが設計したグローバルショッピングセンターの敷地内に移転。 ・近代的なガイドラインとオリジナルのパネルを備えたガラス表面の組み合わせにより、<u>スロベニアで最も美しい図書館の1つになる。</u> ・ファサードには、クラン市出身の偉大な詩人であるプレシェーレンの詩が同氏の典型的なフォントで書かれている。 ・3階建ての建物には、すべての年齢の読者のための幅広いコレクションを揃え、映画や音楽のコレクションも豊富。 ・毎月、様々な文化および教育イベントのプログラムを準備。
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>福井市代表団の来訪に合わせて、福井市展覧会として、福井市から送付した写真と書道の作品を展示する写真展・書道展を開催。</u> ・図書館の1階は、市民交流センターの機能を有しており、文化情報発信の拠点としても活用されている。 ・今年、福井市において複数回開催しているクラン市写真展の写真作品を提供してくれたヤネス・プハール写真協会による写真展も同時開催されており、両市の交流をPRする絶好の機会となっていた。 ・3階建ての近代的な建物は、フロアとエリアごとにカテゴリー分類され、書棚の配置も工夫され、利用しやすい空間づくりがなされていた。

訪 問 記 錄



文化	Park Brdo ブルド公園
訪問日	7月2日(火) 15時00分～16時00分
住 所	Predoslje 39, 4000 Kranj
施 設 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラン市中心部から車で約10分のブルド公園では、<u>500ha以上の森、大通り、池が広がる。</u> ・ <u>ルネッサンス様式のブルド城は、16世紀初頭に建てられ、何世紀にもわたって、ゾイス家、ユーゴスラビアのカラジョルジェヴィッチ王族、ユーゴスラビア大統領ヨシップ・ブロズ・チトーなどの歴史上の人物をもてなしてきた。</u> ・ 城には、スロベニアの芸術家による彫像や絵画の豊富なコレクション、さまざまな歴史的時代の家具、貴重なクリスタルのシャンデリアとカーペット、豊富な品揃えの図書館などを擁する。 ・ 城には、スロベニアの芸術家による彫刻や絵画の豊富なコレクション、様々な歴史的時代の興味深い家具、貴重なクリスタルのシャンデリアや敷物、大規模な図書館がある。 ・ <u>今日のブルド城は、国家元首同士の会談で重要な役割を果たしている。</u>
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広大なブルド公園は、クラン市の市域に位置しているが、歴史的背景や今日の役割から、<u>国の管理下に置かれている。</u> ・ 公園内には、入園料を支払えば誰でも入園可能。 ・ ガイドの案内で公園内の主要なスポットを視察。 ・ 園内にあるブルド城は、旧ユーゴスラビアのチトー元大統領の公邸として使用され、元大統領が人生の晩年を過ごした歴史的に貴重な場所。 ・ 城内に入ることができる日は限られており、当日は入場不可。 ・ ブルド城は今日では国家元首の会談等に使用されることもある。 (日本で言えば赤坂迎賓館に相当) ・ 園内には、スロベニアがEU議長国を務めた際に建設されたカンファレンスセンターもあり、EU各国の国旗がセンター前に掲げられている。 ・ 公園内には、ホテルブルドや広大なサッカー場等が整備され、欧州の主要なサッカークラブチームがキャンプで使用。 ・ 広大な公園は、自然環境保護に力を入れる国柄を反映し、どこも管理が行き届き、美しい景観を保つ。



教育	Info center SOS proteus (human fish) S O S プロテウス (人間魚) インフォメーションセンター
訪問日	7月2日(火) 17時15分～18時00分
場 所	tunnels under the old town
面会者	biologist Mr. Gregor Aljančič – guided tour 生物学者グレゴール・アルヤンチッチ氏
施 設 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・SOS プロテウス・インフォメーションセンターは、クラン旧市街の地下にあるトンネル内に設けられた。 ・プロテウス(オルム)は、地下空間にのみ生息する洞窟サンショウウオで、絶滅危惧種に指定されている。寿命が最長で約100年とされており、人間の寿命に近いことから、人間魚とも呼ばれる。 ・施設の目的は、<u>スロベニアの飲料水の99%が供給される地下水資源及びオルム(人間魚)を保護することの重要性について教育し、意識を高めることにある。</u> ・センター内には、情報ボード、ビデオプレゼンテーション、そしてプロテウス(オルム)を見ることができる水族館がある。 ・訪問者が払う入場料は、<u>全てこの絶滅危惧種の研究と保護に使われる。</u>
ガイド (研究者) 紹 介	<ul style="list-style-type: none"> ・地下ツアーガイドを務めるのは、生物学者マルコ・アルヤンチッチ氏。 ・1960年に、旧市街の地下にあるトゥラーと呼ばれる小さな洞窟にプロテウス(オルム)の研究所を設置。 ・2022年、<u>官民パートナーシップの形でクラン市と協力し、共同でSOSプロテウスインフォメーションセンターを設立。</u> ・自身の研究は引き続きトゥラー洞窟で行い、センターではプロテウス(オルム)の生活、重要性、保護について訪問者を教育し、水族館で白サンショウウオと黒サンショウウオの両方を見る機会を与えている。
	 

Pestrost Kranjskega podzemlja

Staro Kranj stoji na pleistocenski konglomeratni terasi nad potokom rek Sava in Kolpa. Sava potok je nastal med zadnjimi ledeniki Julijskih Alp in Karavanki, manjša stranska potočka pa so se ti produkti iz sedimentov vsebnih zlitih v konglomerat. Prazneje je dvigovanje podtalnice povzročilo raztapljanje apnenčave vsebine, nastanek razpok in paturav, pa tudi zahrastovanje. Podoben proces poteka še danes.

V ta konglomeratni konglomerat so izkopali zaklonišča pod Kranjem in bližnji okolici. Na mestih, kjer smo nato stali z belci, se vidno osenci izstop v konglomeratu. Vse zaklonišča so bila zgrajena tik pred koncem druge svetovne vojne, za zaščito proizvajalcev pred letalskimi napadi.



Lokacije starih zaklonišč v Kranju

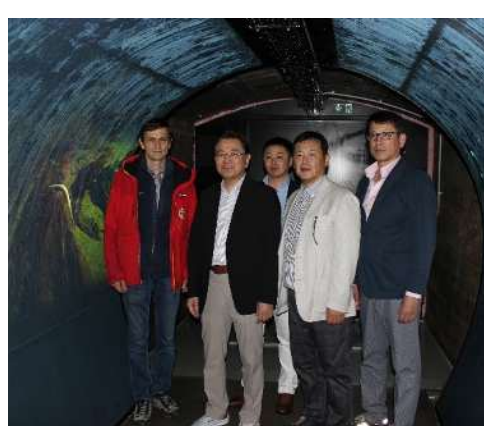
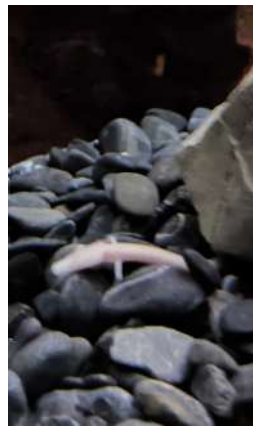
Locations of WWII air raid shelters in Kranj

1. Zgodovinsko Kranjsko
2. Zgodovinsko Kranjsko
3. Zgodovinsko Kranjsko
4. Zgodovinsko Kranjsko
5. Zgodovinsko Kranjsko
6. Zgodovinsko Kranjsko

Virišči


Outcrops

1. Zgodovinsko Kranjsko
2. Zgodovinsko Kranjsko
3. Zgodovinsko Kranjsko
4. Zgodovinsko Kranjsko
5. Zgodovinsko Kranjsko
6. Zgodovinsko Kranjsko



交流	Dinner with city officials at Dom na Joštu 「ドム ナ ヨシュトゥ」での市職員との夕食会
訪問日	7月2日(火) 19時00分～21時00分
住所 店名	Dom na Joštu, Sveti Jošt nad Kranjem 2, 4000 Kranj Restaurant: Dom na Joštu レストラン: ドム・ナ・ヨシュトゥ (The restaurant is at the top of the hill 丘の頂上にあるレストラン)
出席者	<p>City of Kranj: Mayor Matjaž Rakovec and spouse Urša Manček Rakovec, Deputy Mayor Manja Zorko and partner Miha Mojca, Maja ＜クラン市側出席者＞ 市長 マティヤシュ・ラコヴェツと妻 ウルシャ・マンチェク・ヲグェツ 副市長 マーニャ・ゾルコとパートナー ミハ 交流担当職員2名</p> <p>＜福井市側出席者＞ 市長 西行 茂 市議会議長 池上 優徳 市議会議員 酒井 俊樹(総務委員会委員長) 市議会議員 榊原 光賀(経済企業委員会委員長) 市職員2名・添乗員1名</p>
次第	<p>Speeches from Mayor of Kranj and Deputy Mayor of Kranj, Mayor of Fukui, Chairman of Fukui City Council Gift exchange スピーチ (クラン市長、クラン副市長、福井市長、福井市議会議長) ギフト交換</p>
ヲグェツ 市長	<p>＜クラン市長スピーチ＞ 西行茂市長、そしてゲストの皆様、やっと皆さんをクランでお迎えすることができ本当に嬉しく思っています。 まずは、この4月に私達が福井で経験した温かいおもてなしに感謝申し上げます。私たち全員の胸に消えることのない思い出として刻まれました。 どこかを訪問したり、誰かに会うたびに私達は何か新しいことを学びます。まさに福井訪問の 때가 そうでした。</p>

<p>西 行 市 長</p>	<p>クランに戻ってから私は福井市について、その特徴、文化、ホスピタリティそしておもてなしの心について、クラン市のコミュニティ（世代を超えた人々のための）センターとフランツェプレシェーレン高校でレクチャーをしました。これは、クラン市民にもっと福井市を知ってもらうための1つの方法です。今回の皆さんの訪問がたくさんの新たな見識と福井の良い印象をクランに残していただけるものと思っています。</p> <p>私たちはお互いから沢山のことを学びあえると信じています。そして、この関係を通して若い人達に沢山のことを教えることが出来ます。この世界は彼らの肩にかかっているのですから、それはとても大切なことだと思います。彼らの見識が広がるにつれ、世界は人々にもっと友好的になっていくでしょう。</p> <p>< 福井市長スピーチ ></p> <p>日本の福井から参りました、福井市長の西行茂です。</p> <p>本日は、私たちのために、このような素敵な場を設けていただき、ありがとうございます。こうして、クラン市を代表する方々とお会いでき、意見交換をできることを、大変光栄に思います。</p> <p>私は、昨年12月に、第17代の福井市長に初当選し、市長に就任してから半年余りが経過しました。その前は、副市長を約8年務めておりました。私は、副市長時代の2017年に、東京五輪に出場するスロベニア選手団の事前キャンプ誘致のために初めてスロベニア共和国を訪問し、オリンピック委員会やバスケットボール連盟などを訪問しました。その後、スロベニア共和国のホストタウンとなり、事前キャンプを受入れることとなったわけですが、ドンチッチ選手を擁する男子バスケットボール選手団も、約1週間福井市に滞在しました。</p> <p>当時は、アナ・ポラック＝ペトリッチ博士が駐日大使を務めておられましたが、大使には大変お世話になると共に、良い関係を築くことができました。そのような経緯もあり、ペトリッチ博士から、ご自身の故郷であるクラン市との交流をご提案いただき、さらに、クラン市長が福井市との交流を真剣にお考えいただいたおかげで、今日を迎えることができました。改めて、いただいた素敵なご縁に感謝申し上げます。</p> <p>今回の訪問で、私たちは、クラン市の街や人の素晴らしさを肌で感じております。両市間の交流がさらに実りあるものとなるよう、これから幅広い分野での交流をより一層推進していきたいと思っています。</p> <p>最後に、クラン市と福井市との深い絆が、末永く続くことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございます。</p>
--------------------	--

<p>池 上 議 長</p>	<p>< 福井市議会議長スピーチ ></p> <p>福井市議会議長の池上優徳です。</p> <p>本日は、このように盛大な歓迎会の席にお招きいただき、誠にありがとうございます。福井市議会を代表いたしまして、一言御礼の御挨拶を申し上げます。</p> <p>マティヤシュ・ラコヴェツ市長をはじめ、本日御参会の皆様方におかれましては、日頃から両国・両市の相互理解と友好関係の増進に多大なる御尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。</p> <p>さて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウン登録を契機に、貴国と当市とは交流活動を通して友情関係を育んでまいりました。</p> <p>福井市議会も今後の交流実施に係る調査研究のため、2018年に5名の議員が貴国を訪問し、私も訪問団の一員としてバスケットボール連盟や関係省庁の方々とお会いしました。</p> <p>お忙しい中、快く受け入れていただき、また、活発に意見交換を行うなど大変有意義な時間を過ごさせていただきましたことに感謝申し上げます。</p> <p>滞在時は、貴国の勤勉で社交的な国民性に触れることができたとともに、まちは清潔で美しく、安全で安心な暮らしぶりを実感したことを覚えております。</p> <p>今回の訪問におきましても、両市の関係が双方にとって実りあるものとなるよう、皆様方と積極的に意見交換を重ねたいと考えております。</p> <p>このたびの訪問を機に、両市間の交流がより一層活発となり、友情と信頼の絆が深まることで、新しいステージに進めることを大いに期待しております。</p>
<p>記 録 写 真</p>	



文化	<p>Town Hall – Exhibition: Their Joy is Our Wealth Exhibition of Slovenian clothing heritage タウンホール - 展覧会「彼らの喜びは我々の富」(スロベニア衣料遺産展示)</p>
訪問日	7月3日(水) 9時00分～9時30分
住所 記録 写真	<p>Mestna hiša Kranj, Glavni trg 4, 4000 Kranj</p>

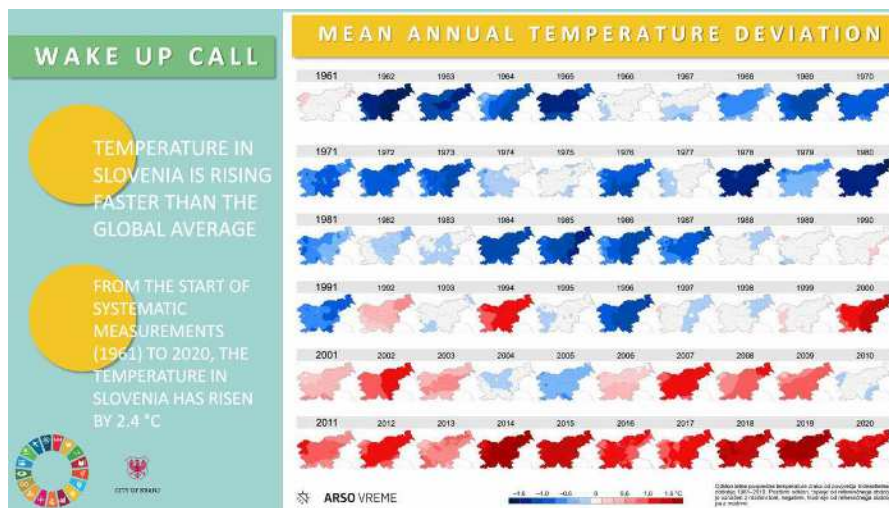
行政	<p>City of Kranj クラン市役所</p> <p>Presentation our vision and progress on the Smart City and Green Agenda.</p> <p>スマートシティとグリーンアジェンダに関するビジョンと進捗についてのプレゼンテーション</p>
訪問日	7月3日(水) 11時00分～13時15分
住所	Mestna občina Kranj, Slovenski trg 1, 4000 Kranj
記録写真	        

プレゼン
概要
(抜粋)

テーマ1：グリーン・アジェンダ

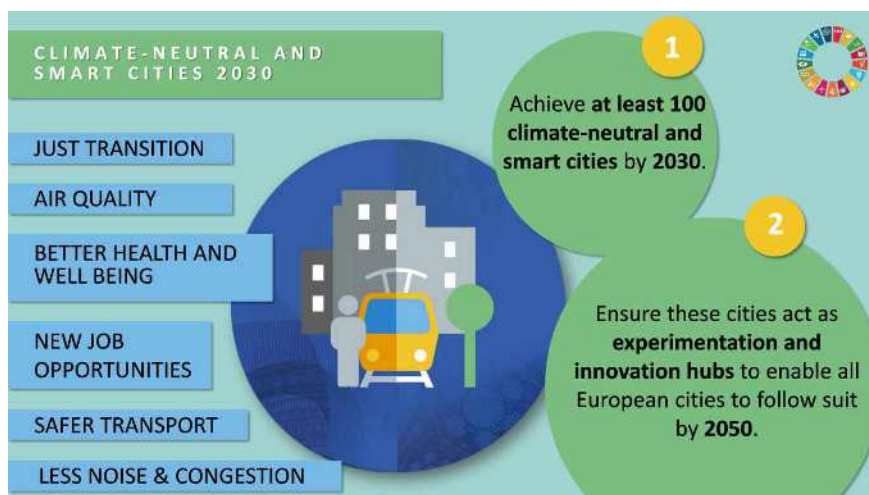
説明者：Eva Romih（エヴァ・ロミ）

スロベニアの気候変動



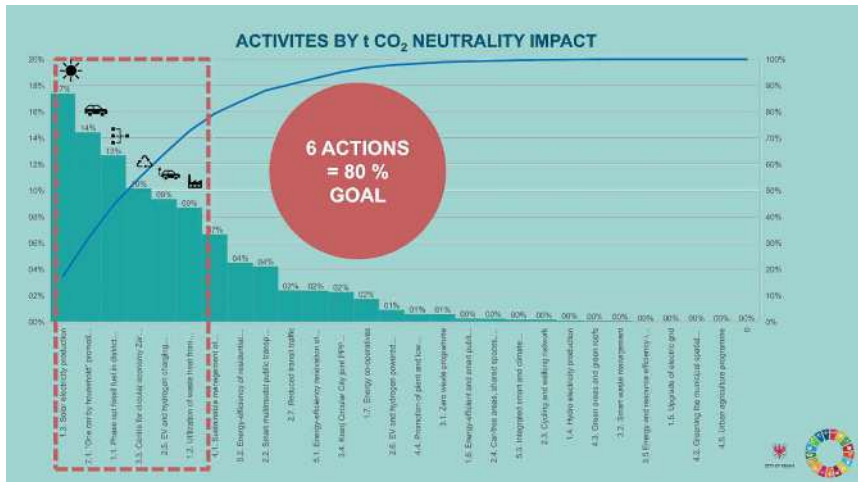
1961 年の統計開始以来、スロベニアの気温が世界平均を上回る 2.4 も上昇したことで、カーボニュートラルとスマートシティを目指す EU ミッションへの参加を決断

気候ニュートラル・スマートシティ 2030



シティーズミッションの目標は、2030 年までに少なくとも 100 の気候ニュートラルでスマートな都市を実現することである。これらの都市は、実験とイノベーションの拠点として機能し、2050 年までに欧州の全都市がこれに追随することを可能にする。

6つの主要活動



クランは6つの主要な活動に重点を置いており、目標の80%をカバーできると予測している：

太陽光発電所と蓄電池システムの導入

各家庭の化石燃料自動車を 1 台に制限し、2030 年までに 8,000 台の自動車を削減

化石燃料から太陽熱、地熱、バイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーに移行し、クランは効率的な都市冷暖房システムを確立
技術主導の廃棄物収集とリサイクルにより、廃棄物を最小化し、
資源回収を最大化し、システムに資源の循環性を導入

電子充電と水素のインフラ整備による持続可能な輸送を支援

産業・商業ビルから廃熱を回収し、エネルギー効率を高め、温室効果ガスの排出を削減

気候ニュートラル都市のためのスロベニア・パートナーシップ

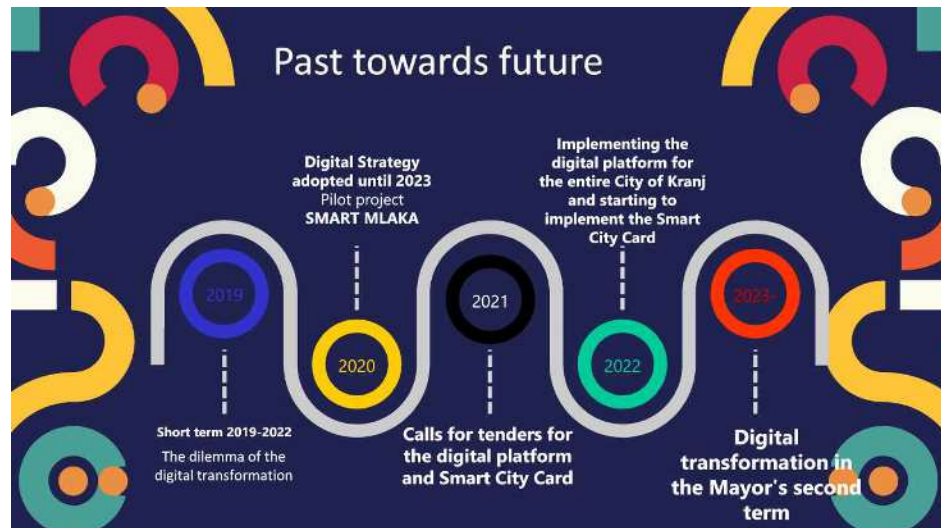


クラン市、リュブリャナ市、ヴェレニエ市は、「100 Climate-Neutral and Smart Cities」イニシアティブの下、スロベニアでパートナーシップを構築することに調印した。

テーマ2：スマートシティ

説明者：Rok Harter ロック・ハーター

クラン市開発年表



スマートシティに向けたクランの歩みは、数年にわたり慎重に計画され、実行されてきた。

<開発のタイムラインの概要>

2019年：2022年までの短期フェーズを開始し、デジタルトランスフォーメーションのジレンマに取り組んだ。

2020：計画を固め、来るべき変革に備えることに重点を置いた。

2021：デジタル・プラットフォームとスマート・シティ・カードの入札公募が行われ、大きな一歩を踏み出した。

2022年：スマートシティ・ソリューションの実施と初期展開の年。

2023：本格的なデジタルトランスフォーメーションに注力している。このフェーズでは、市のあらゆる業務に先進技術を統合し、イノベーションと持続可能性の最前線に立ち続けることを目指している。

これまで、2つの市長デジタル・プロジェクトに時間と労力を費やしてきた。一つ目は、様々なデータを扱うデジタル・プラットフォーム。二つ目は、ソリューションである CeKR シティカードで、市民を1つの組織としてとらえ、一方では最高レベルの信頼性を持つ身分証明書を、他方ではロイヤルティ・システムと支払い手段を提供する。

CeKR ID、ロイヤルティ、決済カード

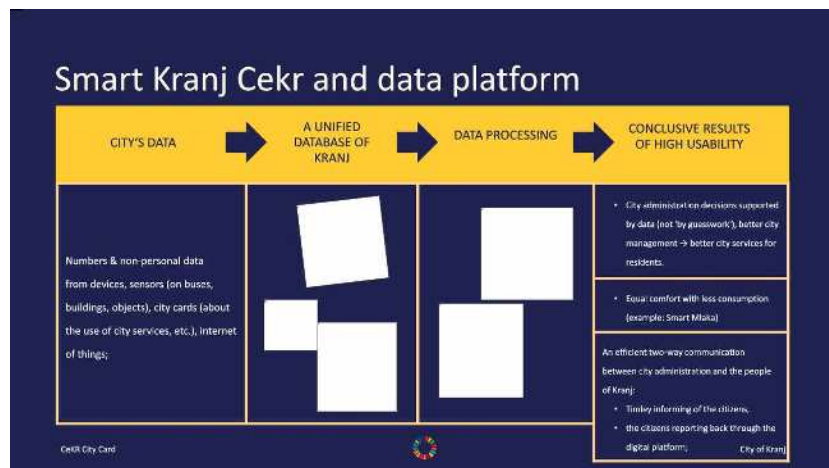


CeKR は、NLB が提供するプリペイド VISA カードで、自宅でも、世界中でも、オンラインでも、安全なお支払いが可能。必要な分だけチャージすることができ、日常の取引に必要な柔軟性と利便性を提供する。

2 つ目の側面として、CeKR は単なる決済カードではなく、クラン市のあらゆるサービスに対応し、クラン市全域で身分証明書として利用できる。このカードは、市内でのやり取りを簡素化するだけでなく、市行政とのコミュニケーションにおける信頼度を高める。

つまり、CeKR は、支払いや市のサービスへのアクセスなど、市民の生活をより簡単に、より安全にするように設計されている。

スマート・クラン CeKR とデータ・プラットフォーム



両プロジェクトをつなげると、全てはデータを中心に展開される。一方では、市政がデータに基づいて対策を講じることができ、他方では、市民を望ましい行動に導くことができる。

行政	City of Kranj クラン市役所 Signing ceremony 署名セレモニー
次 第	<p>< プログラム ></p> <p>フォークロア・グループのダンスパフォーマンス マティヤシュ・ラコヴェツ クラン市長のスピーチ 西行茂 福井市長のスピーチ 姉妹都市提携に関する意向表明書の署名 写真撮影 フォルクロア・グループのダンスパフォーマンス メディア取材 クラン市ギャラリー見学：小学校と Gimnazija Franceta Prešerna の展示 スロベニアと日本のモチーフの展示 福井市代表団がゲストブックにサイン</p>
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・セレモニー会場には、福井市からクラン市に寄贈したタペストリーと書道作品「逢福」の掛軸が掲げられ、両市の友好をアピール。 ・地元の関係者が多いこともあり、セレモニーはスロベニア語で進行。 ・冒頭と終盤に、スロベニアの民族衣装を身にまとった劇団員十数名が、賑やかな音楽と共に伝統的な踊りを披露。 ・ラコヴェツ市長と西行市長のスピーチの後、両市長により意向表明書への署名が行われた。 ・その後、ホールの2階のギャラリーに移り、福井市の学校と交流している学校の生徒が制作した作品展示を見学 ・訪問の記録として、代表団7名全員が、ゲストブックにサイン。 ・会場には、地元のテレビ局が取材に訪れ、セレモニー開始時から撮影。市長へのインタビューも行われ、地元の関心の高さが伺えた。
ラコヴェツ市長	<p>< クラン市長スピーチ ></p> <p>西行茂市長、福井市議会池上優徳議長、福井市職員の皆様、そしてゲストの皆様、ここクランに皆様をお迎えできたことを大変嬉しく思っています。クランと福井の物語は2022年に始まりました。私たちは東京オリンピック前の最終調整を福井で行ったスロベニアバスケットボールチーム、そして前駐日スロベニア大使アナ・ポラック・ペトリッチ博士によって結び付けられました。</p> <p>この3年間で私達は絆を築き、これからさらにもっとその絆を深めていくことでしょう。両市の小中学生はこの秋で3年続けて交流を続けていることとなります。そして、ギムナジウム フランツェ・プレシェーレンの高校生たちも2、3か月前からその交流に加わっています。</p>

西 行 市 長	<p>今年、クラン市は福井市内の様々な場所で、ヤネス・プハル・フォトソサイエティの写真の展示により紹介されています。福井のフォトグラファーは9月までクラン市図書館で彼らの作品を展示しています。クラン市民は福井からの書道作品にも触れる機会もあります。私達は共にお互いのビジネスの世界を知りつつあり、同時に観光目的地として両市のプロモーションも進めています。</p> <p>様々な分野で協力し合うことで、クランと福井の間でお互いに貴重な国際経験ができます。両市の文化、伝統、システム並びにそれぞれの持つ遺産を学び、それをもとにさらにお互いに対する尊敬の念を深めていけます。福井の仲間たちとのつながりを通して、若者たちは貴重な人生経験を得たり、世界をよりよく理解することが出来ます。そしてそれはこのグローバル社会で成功していくために必要なことなのです。</p> <p>日本文化は尊敬の心、しつけ、仕事における倫理、自然との調和、マインドフルネス、そして我慢強さといった価値に重きを置いています。スロベニア人は良く働くことで知られていますし、スロベニアは勤勉な国で、美しい自然に囲まれ、そして文化活動及び身体活動を大切にしています。 私達はいくつかの共通点を持っていますが、お互いに学びあえることもたくさんあります。そしてこの私達の直接の関わり合いがさらに貴重なものをもたらしてくれます。</p> <p>今日この日は、私たちの関係にとって記念すべきものとなります。私達は今日、クランと福井の姉妹都市提携に関わる意向表明書に署名をします。 私達は強固な基礎の上に、友情、協力、そしてお互いへの尊敬の念を引き続き積み上げていきます。私たちのパートナーシップがもたらすたくさんの素晴らしい成果を楽しみにしています。</p> <p>この機会をお借りして、クランと福井の結びつきに貢献して下さった全ての方々に感謝申し上げます。また、サバ民間伝承グループの皆さん、本日のパフォーマンスをありがとうございました。そして、フランツェ・プレシェーレン、プレドスリエ、オレhek小中学校、ヤネス・プハルセンター、マティヤチョップ、そしてギムナジア・フランツェ・プレシェーレン高校の皆さん、ギャラリーに展示されているスロベニアと日本を題材にした素晴らしいモチーフ作品をありがとうございました。この後見せていただきます。</p> <p>< 福井市長スピーチ ></p> <p>福井市長の西行茂です。</p> <p>このたびは、私どものクラン市訪問を受け入れていただき、ありがとうございます。</p> <p>また、4月にクラン市長ご一行に福井市を訪問していただきましたことに対し、改めて感謝を申し上げます。</p>
------------	--

	<p>福井市は、東京オリンピック・パラリンピック大会を機に、スロベニア共和国のホストタウンになって以降、様々な交流を重ねてきたところですが、元駐日スロベニア共和国大使のアナ・ポラック＝ペトリッチ現駐ドイツ大使からご紹介いただいたクラン市との交流は、特別なものであると考えております。</p> <p>既に、教育分野で学校間交流が始まっており、写真展の相互開催を通してお互いの街のPRにも取り組んでいます。クラン市図書館で開催されている福井市写真展を拝見しましたが、一人でも多くのクラン市民、あるいはスロベニアの方々に、福井の魅力が伝わることを期待しています。</p> <p>今回、初めてクラン市を訪れたわけですが、中世の面影を残す街並みとアルプスの山々を望む雄大な自然の風景に感動をしております。私たちが見て感じたこと、クラン市の方々とお話をしてわかったことを、福井に持ち帰り、一人でも多くの市民に伝え、これから両市間の交流がさらに活発に行われるように努めていきたいと思います。</p> <p>最後になりますが、私たちは、クラン市の皆様と、末永く、良好な友好関係を構築できることを信じておりますので、明るい未来に向けて共に歩んでまいりましょう。</p> <p>本日は、よろしくお願いいたします。</p>
意 向 表明書	<p><日本語のみ></p> <p>福井市（代表者：市長 西行茂）とクラン市（代表者：市長 マティヤシュ・ラコヴェツ）は、ここに「福井市とクラン市の姉妹都市提携に関する意向表明書」を締結する。</p> <p>両市が協力関係を築く意向をここに表明することは大変喜ばしく、我々は、姉妹都市提携によって、青少年育成、教育、文化、観光、そしてビジネスの分野における相互の関心がさらに深まることを確信する。</p> <p>1 両市は、福井市とクラン市間の、より緊密な協力関係の構築について共に関心があることを、ここに表明する。</p> <p>2 この意向書の目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 福井市とクラン市による相互協力を確実なものとし、 - 両市の協力による成果について見定め、2者の関係の起こりより3年すなわち2025年に、姉妹都市盟約書への締結を決定すること <p>3 この意向書への署名をもって、両市は、第4条に示す事項について、相互に協力する揺るぎない意思をここに表明する。</p> <p>4 両市は、以下の分野において、互いに積極的に協力する決意をここに宣言する。</p>










	<p>a. 青少年育成の分野における、教育機関での協力の着手</p> <p>b. 文化分野における、文化関連団体同士の仲介</p> <p>c. 観光分野における、相互の情報発信</p> <p>d. ビジネスの分野における、商業活動の紹介</p> <p>e. その他様々な分野における、国際的な取組</p> <p>5 両市は、以下の一連の工程において手続きが進行することに同意する：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 両市長が本意向表明書へ署名すること - 姉妹都市提携の手続きを開始すること - 姉妹都市盟約書を締結すること <p>6 両市は、本意向表明書に記載された各項目の実施について、事前に正式に通知された場合においては、変更される可能性があることに同意する。</p> <p>本意向表明書で定義している両市の協力にかかる目的と活動内容は、姉妹都市締結に至るまでの始まりとしての取組を示したものであり、両市はこの実現のため、可能な限り最大の努力を払うものとする。</p> <p>2024年7月3日</p>
記 録 写 真	

文化	Presentation of Beekeeping and the Mayor's Beehive 養蜂と市長の巣箱のプレゼンテーション
訪問日	7月3日（水） 15時15分～16時00分
場 所	Srednja ekonomska, storitvena in gradbena šola Kranj, Cesta Staneta Žagarja 33, 4000 Kranj
面会者	Beekeeper Mitja Smrdel 養蜂家 ミーチャ・スムルデル



メモ
録写

スロベニアで盛んな養蜂について、養蜂家からその背景と養蜂業の実態について説明を受ける。



文化	Old town of Kranj クラン旧市街 視察
訪問日	7月3日(水) 16時05分～17時00分
訪問記録	        

10 訪問記録（リュブリャナ市）

行政	在スロベニア日本国大使公邸	
訪問日	7月3日（水） 19時00分～21時20分	
場 所	Veselova ulica 15, 1000 Ljubljana	
訪問者	西行 茂 福井市長 池上 優徳 福井市議会議長	
面会者	吉田 晶子 在スロベニア日本国特命全権大使 青木 隆 参事官	
吉田大使 プロフィール	<p>吉田 晶子（あきこ）大使</p> <p>< 学歴と主な経歴 ></p> <p>昭和63年3月 京都大学法学部卒業</p> <p>昭和63年4月 運輸省入省</p> <p>平成18年1月 ニューヨーク大学法科大学院修士課程修了</p> <p>平成27年8月 国際観光振興機構（JNTO）特命理事</p> <p>平成29年7月 国土交通省大臣官房政策評価審議官（併）秘書室長</p> <p>平成30年7月 国土交通省 大臣官房審議官（国際担当）</p> <p>令和 元年7月 国土交通省 関東運輸局長</p> <p>令和 2年7月 国際観光振興機構（JNTO）理事長代理</p> <p>令和 4年6月 国土交通省大臣官房付</p> <p>令和 5年11月 駐スロベニア日本国特命全権大使就任</p>	
本市との 関わり	<p>・ 吉田大使は、今年3月、外務省で開催された欧州大使会議出席のため一時帰国され、3月25日に来福され、市役所をご訪問された。</p> <p>・ 当日は、市長が東京出張により不在のため、小寺副市長と会談された。</p> <p>< 令和6年3月福井市役所訪問時の様子 ></p> <div>   </div>	

訪 問
記 録

- ・スケジュールの都合上、在スロベニア日本国大使館での面会は行われず、代わりに大使公邸において夕食会を兼ねた面会が行われた。
- ・外務省のガイドラインにより、大使公邸での夕食会は必要最小限の人数で開催する必要があったため、大使公邸には、西行市長と池上議長の2名のみが招待された。
- ・当日の流れは次のとおり。

会談

ギフト贈呈

会食

記念写真撮影



1 1 総括

今回のスロベニア共和国訪問の主たる目的は、クラン市の現状を把握し、各分野での交流進展の可能性を調査し、同市との姉妹都市提携に向けた方向性を見極めることにあった。

現地では、7月1日から3日にかけて、教育、観光、経済、文化、行政の各分野の主要施設を視察し、関係者と面会して意見交換を行うなどした。

いずれの訪問先でも、調査団の来訪が歓迎され、福井との交流を好意的に受け止めていることを確認できた。

教育分野では、訪問した学校がそれぞれ特色ある教育に取り組んでおり、専門性を身に付けるための充実した学校設備や、個々の才能を伸ばすための教育方針など、参考になる点を確認できた。

また、福井の教師との意見交換など教師間の交流の提案もあり、子どもだけでなく大人同士も学び合える可能性を確認できた。

観光分野では、観光PRやイベント開催の役割を担う観光文化局を訪問し、クラン市のあらゆる魅力について説明を受けた。恵まれた観光素材にアイデアを加えることで、年間を通して多くの観光客をひきつけ、街に賑わいをもたらしている点は、大変参考になった。

また、本市の観光パンフレットを複数種類贈呈し、観光案内所にて本市の観光PRをしていただくように依頼することもできた。

経済分野では、充実した起業家支援体制により、若手起業家を数多く成功に導いている施設の役割を知り、就労支援の在り方についてのヒントがあるように思われた。

また、実際に成功した若手起業家から、福井の起業とつながりたいとの話をいただき、今後の経済交流の可能性を見出すことができた。

文化分野では、歴史ある音楽学校などを訪問し、若いうちから才能を伸ばし、夢を叶えるために、手厚い支援を行っている実態を知り、文化芸術の育て方が参考となった。

また、写真展の相互開催は、魅力発信に効果的であり、クラン市の写真協会から福井の団体の紹介を依頼されたこともあり、今後の継続的な文化交流の可能性を見出すことができた。

行政分野では、クラン市役所にてクラン市が推進するゼロカーボンやD Xの取組について説明を受け、その先進的な取組について研究し、見習うべき価値があると思われた。

このように、各分野において交流の意義を見出すことができ、クラン市との間では本市にとって実益のある有意義な交流を推進できると判断できたことから、7月3日にクラン市役所において、池上議長、酒井総務委員会委員長、榊原経済企業委員会委員長同席のもと、クラン市長と共に「姉妹都市提携に関する意向表明書」に署名を行ったところである。

今後は、署名した意向表明書に従い、両市間での姉妹都市提携の実現を目指していくこととしたい。

なお、今回の訪問で、両市には、「お城があること」、「お酒の文化を大切にしていること」、「豊かな水資源（地下水）に恵まれていること」、まちなかでは至る所で「あじさい」が咲いていることなど、新たな共通点を確認することができた。

こうした共通点の存在もしっかりと情報発信を行うことで、市民の皆様にさらなるご理解とご協力をいただきながら、これまで以上に市民レベルでの交流を推進していきたい。